

1月・2月・3月のギャラリー展示場。
さまざまな作品が並びます。ギャラリーは10:00~16:00

- (1月) 1/9 (火)~1/25 (木) 「ボランティア作品展」
- (1~2月) 1/26 (金)~2/8 (木) 「パッチワークと写真展」 齋藤正明さん
- (2月) 2/9 (金)~2/26 (月) 「写真展」 写遊会
- (2~3月) 2/27 (火)~3/11 (月) 「手芸品展」 カバンドリー
- (3月) 3/12 (火)~3/26 (火) 「写真展」 フォトグループ・feel
- (3~4月) 3/27 (水)~4/9 (火) 「十人十色の写真展」

●展示に関してのお問い合わせは、ふらっとサロンギャラリー担当まで。

紙上ブログ

ふらっとサロン通信

発行・編集
2024(令和6年)
1月・2月・3月
[年間・4回発行]
西山田ふらっとサロン
運営委員会・広報部

ちよっと聞いて、気になる話。
婆のジタバタ孫育て……

娘家族と同居している婆です。保育園に送り届けるのが私の仕事です。毎朝花の名前、木の名前を言い合いながら通園し、ミシンをかける私の膝に乗り一緒にお裁縫をしました。それは可愛い孫達です。ところが、中学生頃になると、♪ヘンシーン!してしまっただけです。目を合わせて会話することがなくなりました。私は彼らの態度や言動に戸惑うばかりです。あの素直で可愛かった君たちはどこに行ってしまったの。ナニナニ「婆ちゃんは君達には無用の人になってしまったの?」我が子を育てている時には味わったことの無い疎外感です。母親とは楽しそうに話してるのに、私にはなんでそんな冷たいの? 初めての経験に私はうろたえました。さてさてこの失礼な態度を叱るべきか、スルーするか。しばし落ち込みながらも、考えました。そう言えば私も昔、親を疎ましく思った



頃が有りました。保育園で仕事を始めた頃に、二才児から強烈な洗礼を受けたことも思い出しました。「この先生の顔がキライ!」と言われて、思わず言葉を失いました。新人の私にはこれはこたえました。後で先輩に教えて貰ったことですが、それは自分をどこまで受け入れてくれる人か、愛情深さを測る本能なのです。それなら受けて立とうじゃないの。ドンと



かかっておいで、と保育の仕事が楽しくなりました。ちなみに「えーっ先生は○ちゃんのこと大好きやでー」と答えるのが正解です。そんなこんなを思い出して、孫にもそっちが本能で掛かって来るなら、こっちは大人の度量で勝負してみようと腹をくり、孫との接し方を改めることにしました。

婆の孫育ての話は74号青年期編に続きます。

ファンキーババア

紙上ギャラリー

山田の野鳥
表紙 絵と文 吉川マサナさん

「赤啄木鳥」アカゲラ

キツツキは漢字で「啄木鳥」と書きます。木を啄む(ついばむ)鳥という意味で、習性をよく表していますね。歌人の石川啄木のペンネームの由来となっているそうです。アカゲラの体には赤・白・黒の3色が見られ、その配色は絵画のようでとても美しいです。背中中の白い斑点と、肩の背中に逆八の字の白い模様がついているのが特徴です。